

全木連時報



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

8月25日(火曜日)
(第617号)(毎月25日発行)
平成21年(2009年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
編集人 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL http://www.zenmoku.jp

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木連・全木協連合同常勤役員 事務局長等会議開催

全木連・全木協連は、七月二十四日に東京の虎ノ門パストラルで、「常勤役員事務局長等会議」を開催した。各都道府県木連の事務局の常勤役員ら約七十名が参加し

施策の具体的な取組みに期待

会議は、まず、吉条全木協連会長が挨拶。経済全般にわたる不振、特に木材業界を取り巻く環境は厳しく、今回の会議の目的は、木材・住宅関連の施策など当面の課題について意見交換してもらい、具体的な取組みにつなげてもらうことであると述べた。

この後、議事に入り、まず、平成二十一年度行政の重点施策について、林野庁木材産業課の鈴木信哉課長と木材利用課の池淵雅和課長、国土交通省木造住宅振興室の越海興一室長がそれぞれ所管の事業について説明した。

Ⅰ木材産業等をめぐる動向①木材価格の安定及び林業経営の維持・発展に向けた対策②金融、保証、雇用対策等③木造住宅関連事業の公募情報④森林バイオマス分野の排出量取引事業と山村再生支援センターの活動⑤木材利用推進⑥木材産業の業況等に関するアンケート結果⑦平成二十二年度林業・木材産業関係税制及び金融制度改正についての要望

Ⅱ第四十四回全国木材産業振興大会について
Ⅲ補助事業関係①平成二十一年度合法性等の証明された木材の普及促進事業の進め方などの作成②今後の違法伐採対策についての中間とりまとめ③地域材の水平連携

今年の全国木材産業振興大会 10月23日に東京で開催

全木連・全木協連が主催する第四十四回全国木材産業振興大会は、十月二十三日、都内の「東商ホール」で開催する。

例年のとおり、第一部が大会議事。大会宣言を決議し、その実現をめざす。

第二部がパネルディスカッション「木の町・木のいえ推進から見える木材業の将来」。建築業界、木材業界双方の関係者による加工システム推進事業④環境にやさしい木材利用推進緊急対策事業

⑤木材安定供給圏域システムモデル事業⑥がんばれ！地域林業サポート事業⑦農林漁業セーフティネット資金利子補給事業
Ⅳ第三十七回JAS製材品普及推進展示会開催について
Ⅴ平成二十年木材PRポスター

目次

一面	常勤役員・事務局長等会議を開き意見交換 振興大会のおしらせ
二面	原料転換事業の研修会を開催 林野庁幹部と意見交換 振興大会表彰者を選考 国内クレジット制度への支援について
四面	おしらせ 景況調査

原料転換事業の研修会を開催



行う形で進められた。

まず、「我が国の木材産業と原料転換」についてを林野庁木材産業課課長補佐の田口護氏が講義。外材から国産材への原料転換の動向について説明した。

次いで、「木材貿易・輸入の現状と課題」について日本木材輸入協会専務理事の大橋泰啓氏が講義。世界的に見た木材の供給能力と木材利用拡大の必要性を説明した。

次に、「木材産業の経営・財務の見方」について、農林漁業信用基金林業部保証課長の櫻井将裕氏が講義。財務諸表の見方のポイント。特に運転資金借入に関する要点を説明した。

最後に、全木協連から、本事業の実施要領、交付規程、利子助成申請手続きについて説明し、終了した。

林野庁幹部と意見交換

全木連・全木協連は、八月七日、正副会長・支部長と林野庁幹部との懇談会を開催し、木材関連全般、広範な問題について率直に要望や意見交換した。

当日の林野庁の出席者は次のとおり。島田長官、宮坂次長、飯高

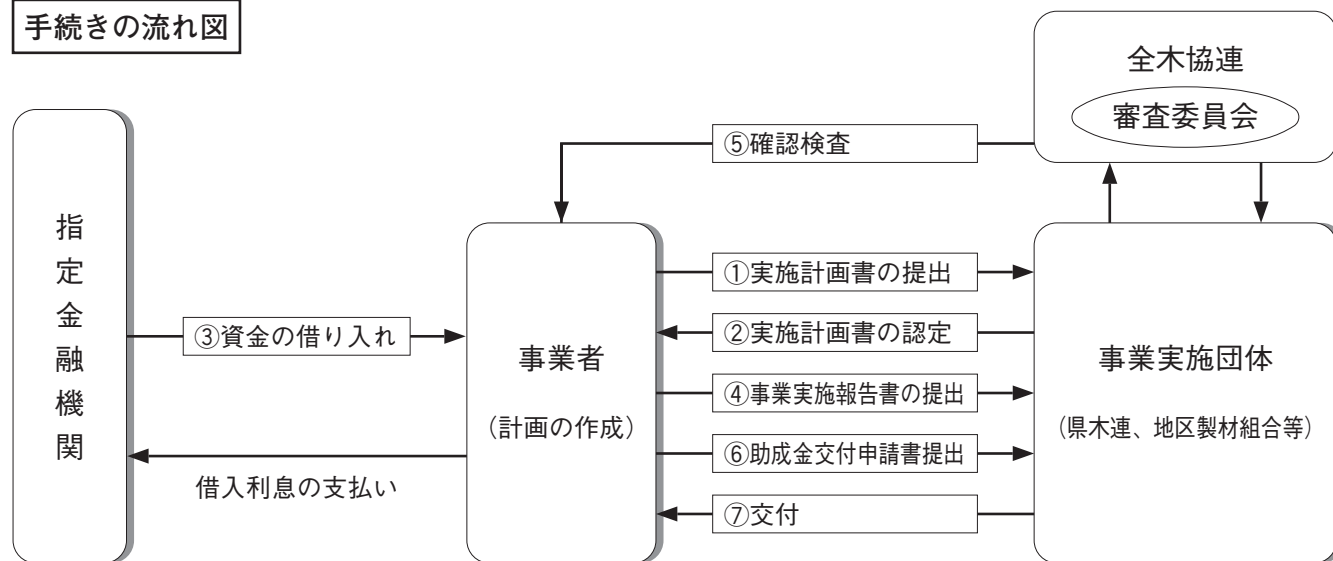
林政部長、牧元企画課長、安東経営課長、鈴木木材産業課長、池淵木材利用課長、本郷業務課長、赤木木材貿易対策室長、岡井木材産業課総括課長補佐、今泉木材利用課総括課長補佐、唐澤木材産業課課長補佐。

原料転換事業とは

木材関連事業者が原料を外材から国産材へ転換する場合に、転換する樹種の加工に適した施設・設備の導入、既存施設の取り壊し、原料転換にともなう経営の安定のための運転資金の借り入れに対し、利子の一部を助成します。

- ◆助成対象 施設・設備の導入資金、1年以上の長期運転資金の借り入れに対する支払利息
- ◆助成金 貸付残高に3%以内の利率を乗じた額(助成は、国の補助金2/3と事業者出せん金1/3で実施)
- ◆助成期間 施設・設備は7年以内、長期運転資金は5年以内
- ◆助成の条件 年間原木消費量の概ね7割を外材で消費(19年度)しており、5年後には概ね7割を国産材で消費又は国産材消費量が1万㎡増加が見込まれることなど
- ◆対象となる業種 製材業、合板製造業、集成材製造業、木材チップ業、床板製造業(単、複)、パーティクルボード製造業、造作材製造業

手続きの流れ図



各支部からの 意見・要望

林野庁幹部との意見交換会にあたっては全木連では事前に各支部から意見・要望を集め、林野庁に提出している。

集まった意見・要望は多岐にわたるが、次のとおり。

一 木材利用の推進

木材・木材製品の利用推進を図るため、環境貢献に対して具体的メリットを与える施策の導入(カーボンストック減税・エコポイントなど)／経済危機対策を適切に実施するなど公共建築物の木造化・木材利用の一層の推進と制度の整備・充実／環境貢献度に着目した指標・表示方法の開発普及／地域材利用推進のため木質バイオマス・バイオマスエネルギーの総合的利用推進／木材利用・国産材利用PRの一層の充実／輸入材も含めた木材利用の推進

二 木材産業振興対策・構造改善対策など木材産業への支援推進

山元地域の活性化に貢献する林業・木材産業・中小工務店の健全な発展対策の推進／木材チップ・パルプ価格の適正化

三 違法伐採対策の推進

合法性が証明された木材・木材製品(合法木材)の利用推進のため、合法木材を国の幅広い施策や助成

制度の中に位置づけ／輸入材の合法木材供給への働きかけ／政府調達・地方自治体調達推進への働きかけ／国産材伐採の適法な手続がとられるような普及指導の徹底

四 輸入木材への対応

WTO・FTA交渉における林産物の現行関税水準の堅持／北洋材の輸出関税引上げの見直しと迅速な情報提供

五 JAS製品などの推進

JAS・産地表示制度など信頼性の高い木材製品の優先使用の推進／JAS製品の公共事業への

使用義務付け
六 国有林野事業の推進
地域の需給状況に応じた国有林材の機動的・安定的な原木供給／山元地域の林業・木材産業の発展に資する事業の推進／国有林制度の見直しに際し国有林の適切な運営体制の確保

七 その他

林業就業希望者の雇用促進／木材の高付加価値機能を科学的に実証、解明するための総合的研究の推進／県木連の基盤強化につながる支援

振興大会の表彰候補者を決定

全木連、全木協連

全木連、全木協連は、八月七日にそれぞれの総務委員会、表彰選考委員会を合同で開催し、来る十月二十三日に東京で開催する全国

木材産業振興大会における被表彰者、候補者を選考した。各都道府県木連、木協連からの推薦にもとづいて、全木連会長表

合法木材のPR

林野庁内の展示

コーナーで

七月の下旬から八月上旬の間、林野庁内にある展示コーナーで、合法木材のパネルや見本を展示し、普及啓発をはかった。

この展示コーナーでは、「間伐材」や「炭」や「水」といった各種のテーマで展示を行っている。



彰、全木協連会長表彰計百二名を決定したほか、林野庁に申請する候補者を選考した。

また、会議では、全木連、全木協連の事業運営について検討したほか、最近の活動状況や情勢を報告した。主なものとしては、①木材価格の安定及び林業経営の維持・発展に向けた対策②金融、保証、雇用対策等③木造住宅関連事業の公募情報④森林バイオマス分野の排出量

最近の話題

国内クレジット制度への支援

国内クレジット制度とは、中小企業等が大企業等から資金や技術・ノウハウ等の提供を受け、協働(共同)でCO₂排出削減に取り組み、その削減分を売却できる仕組みのこと。

対象となる事業としては、ボイラーの更新、照明設備の更新、空調設備の更新等が考えられている。木材産業では、ボイラーの更新は身近なテーマであるため、既に取組みをしている企業が見られる。

実際の手続としては、排出削減事業計画の策定、排出削減事業の承認申請、事業の実施・モニタリング・排出削減実績報告書の作成、国内クレジットの認証申請と一連の流れが必要でハードルが高い。

経済産業省では、これら手続を費用面も含め支援する事業(ソフト支援)を行っている。また、ハード面での支援もある。これは、

おしらせ

林業機械化協会は、長崎県と共催で十月四、五日に森林・林業・環境機械展示実演会を開催する。会場は長崎県島原市平成町地内「安徳海岸埋立地」。出展機械約四百五十機種。

取引事業と山村再生支援センターの活動⑤木材利用推進の要請活動⑥平成二十一年全国会議日程の以上。

このほか、日本政策金融公庫による貸付がある。

経済産業省のソフト支援については、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会など、実施機関が置かれていて、事前のCO₂削減・省エネの無料診断、排出削減事業計画の無料策定支援、計画を提出した際に必要となる審査費用の支援などを行っているの、各実施機関に問い合わせられたい。

また、農林水産省も積極的に対応している。林野庁独自の取組みとして「山村再生支援センター」による支援措置がある。ただし、木質バイオマスによる取組みに限られる。

景況調査＝全木協

21年7月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数97 回答数65 回収率67%

当月の状況

販売量	増加22% (14)	変わらず55% (36)	減少23% (15)
仕入量	増加16% (10)	変わらず61% (39)	減少23% (15)
販売価格	上昇 3% (2)	変わらず74% (47)	下降23% (15)
仕入価格	上昇 3% (2)	変わらず72% (46)	下降25% (16)

来月の見通し

販売量	増加18% (12)	変わらず50% (32)	減少32% (21)
仕入量	増加12% (8)	変わらず52% (33)	減少36% (23)
販売価格	上昇 5% (3)	変わらず89% (57)	下降 6% (4)
仕入価格	上昇 5% (3)	変わらず90% (58)	下降 5% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	7% (4)	84% (47)	9% (5)
南洋材	10% (5)	86% (43)	4% (2)
北洋材	15% (8)	76% (40)	9% (5)
国産材	8% (5)	67% (39)	25% (15)
建材	9% (5)	63% (34)	28% (15)

乾燥材取引の頻度	増加 20% (12)	変わらず 78% (48)	減少 2% (1)
----------	----------------	------------------	---------------

〔製造部門〕

モニター数114 回答数78 回収率68%

当月の状況

販売量	増加28% (22)	変わらず43% (33)	減少29% (23)
仕入量	増加19% (15)	変わらず41% (32)	減少40% (31)
販売価格	上昇 3% (2)	変わらず80% (63)	下降17% (13)
仕入価格	上昇17% (13)	変わらず73% (57)	下降10% (8)

来月の見通し

販売量	増加21% (16)	変わらず44% (35)	減少35% (27)
仕入量	増加21% (16)	変わらず47% (37)	減少32% (25)
販売価格	上昇 1% (1)	変わらず95% (74)	下降 4% (3)
仕入価格	上昇10% (8)	変わらず86% (67)	下降 4% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	20% (6)	73% (22)	7% (2)
南洋材	4% (1)	92% (25)	4% (1)
北洋材	15% (4)	74% (20)	11% (3)
国産材	31% (19)	54% (34)	15% (9)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 86% (12)	1ヵ月 14% (2)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	-------------------	-----------------	------------------



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

平成22年(2010年)版
木材PR用カレンダー予約受付中

- ・ 1社100部単位にて、ご予約受け付けます。
- ・ ご希望のとおりにお社名印刷してお届けします。(社名印刷はサービスいたします)
- ・ 1部700円(社名印刷が昨年と同じ場合は1部680円に割引きます)。消費税別。
- ・ サイズ 364X515 ㍉_m
- ・ お申し込みは、全木連(03-3580-3215)まで

平成21年6月からスタート!

フォレストサポート保証



- ◎ 経営支援のためのセーフティネットとして、運転資金は最大8,000万円まで無担保保証が受けられます
- ◎ 連帯保証人は組合・会社の場合、代表者1名でもOK

保証のご利用の限度額を引き上げました



- ◎ 保証限度額を4億円まで(会社の場合)
- ◎ 無担保保証の限度額を2億円まで etc

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL 03(3294)5581 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com